

火災から身を守る



火災から身を守るには

火災に備える

火災に気づいたら、すぐに「通報」、「初期消火」、そして「避難」することが大切です。優先順位は状況によって異なるため、慌てず冷静に判断しましょう。

地震発生時には出火していなくても、ガスの元栓を閉める、電気のブレーカーを切るなどの出火防止を行ってから避難しましょう。日ごろから、放火等を防止するため、家の周りに燃えるものを置かないようにしましょう。



①通報

- 大声で「火事だ」と叫び、周囲に知らせる。
- 119番通報する。(固定電話・携帯電話)
- 危険が迫れば近所に通報を依頼する。

②初期消火

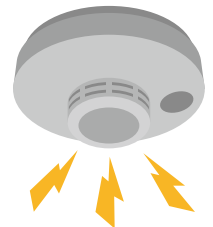
- 屋内では炎が天井に達するまでとする。
- 必ず避難口を背にする。
- 危ない、怖い、無理と思ったらすぐに避難する。
- 屋外であれば風上から行う。

③避難

- 日頃から2つ以上の避難できる経路を考えておく。
- 余裕があれば燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を遮断する。
- 煙は吸わないようにする。

住宅用火災警報器

住宅火災で亡くなられた方の多くは「逃げ遅れ」が原因です。火災から大切な命を守るため「寝室」、「階段(寝室のある階)」、「台所」への設置が必要です。火災を早期に発見することで、通報や初期消火が早まり、被害の軽減につながります。



設置後は適切な維持管理を

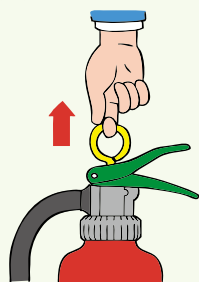
- 正常に作動するか、定期的に点検しましょう。(月に1回が目安)
- 10年を目安に本体ごと交換しましょう。(機器の劣化、電池切れの可能性があります。)

悪質訪問販売に注意

消防署や市役所の職員が住宅用火災警報器等の訪問販売をすることはありません。「怪しいな」と思ったら、最寄りの消防署や豊橋市消費生活相談室(電話:0532-51-2305)にお問い合わせください。

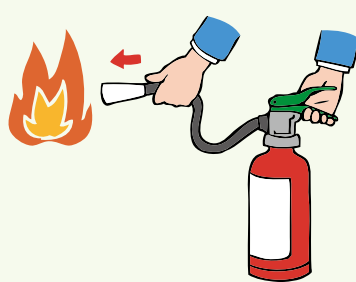
火災予防についてのお問い合わせ先 豊橋市消防本部予防課 電話:0532-51-3115 メール:yobo@city.toyohashi.lg.jp

まめ知識 消火器の取扱い方法



①安全栓を抜く

レバーを握っていたら安全栓は抜けないので気をつけましょう。



②ノズルを火元へ向ける

ホースを持つとノズルが暴れることがあります。ノズル部分をしっかりと持ちましょう。



③レバーを握る

レバーが握れなければ消火器を置き体重をかけて押さえると噴射します。

知って得する! 「普段」と「いざという時」の心構え



災害はいつ襲ってくるかわかりません。何も無い今こそ、災害から逃れるための準備が必要です。災害時に、あわてることなく適切な行動をとれるようにしましょう。「自分だけは大丈夫」、なんて事はありません。日ごろから防災対策をしているかどうかで、身に降りかかる危険性は大きく変わってきます。

非常持出し品を準備しましょう!

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 家族3日分の食料・飲料水 | <input type="checkbox"/> 作業用手袋(革手袋)・防塵マスク |
| <input type="checkbox"/> 貯金通帳・印鑑・現金(小銭) | <input type="checkbox"/> ホイッスル(呼び笛) |
| <input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん・運動靴 | <input type="checkbox"/> 救急薬品・常備薬・処方箋のコピー |
| <input type="checkbox"/> 健康保険証・運転免許証・権利証書 | <input type="checkbox"/> 衛生用品(歯磨き用具等)・生理用品 |
| <input type="checkbox"/> ラジオ兼ライト(予備電池) | <input type="checkbox"/> ティッシュ・ウエットティッシュ・除菌アルコール |
| <input type="checkbox"/> 本人・家族の写真(最新のもの) | <input type="checkbox"/> タオル・下着類 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話・モバイルバッテリー及び充電器 | <input type="checkbox"/> ナイフ・缶切り・マッチ・ライター |
| <input type="checkbox"/> 筆記用具(油性ペンを含む) | <input type="checkbox"/> 予備メガネ・コンタクトレンズ洗浄液 |
| <input type="checkbox"/> 毛布・寝袋・簡易ブランケット | |

家族に合わせた準備をしましょう!

【高齢者がいる家族】

- 食料品類(ゼリードリンクなど)
- おむつ・紙パンツなど
- 装具の予備(杖など)
- 持病等の薬
- 口腔洗浄液・入れ歯洗浄剤
- 身近な人の連絡先
- 自身の身元を記入したもの

【乳幼児がいる家族】

- ミルク・哺乳瓶・離乳食等
- おむつ・おしり拭き
- ベビーソープ
- おんぶひも・おもちゃ
- ガーゼ
- 食品アレルギーリスト
- 母子健康手帳

【妊婦がいる家族】

- 脱脂綿
- ガーゼ
- 新生児用品
- 消毒用アルコール
- 母子健康手帳
- 清潔なタオル等

※アレルギー対応食品や薬など、必要なものは人によって異なります。家族一人ひとりに何が必要か考えて準備しておきましょう。

日ごろから防災コミュニティを!

- 防災コミュニティとは、様々な分野の地域住民や事業所、行政などが協力し合って、災害に強いまちづくり・人づくりを目指し、防災活動に取り組む地域社会をいいます。
- 日ごろから顔の見える関係を築いておくと、地震など、いざという時に迅速でスムーズな防災活動を行うことができます。
- 地域に根付いている防災訓練、お祭り、運動会、サークル活動など、多くのイベントの機会を通じ、協力し合える仲間づくりをしましょう。



防災コミュニティのイメージ図

まめ知識 避難する時の注意点!

- 1 水害時には、長靴では中に水が入り、かえって動きにくくなるため、ひもで締める運動靴で避難しましょう。
- 2 浸水時の水面下には、マンホール・側溝・段差など危険が隠れています。長い棒を杖代わりにして行動しましょう。
- 3 手をつないだり、非常持出品等を手に持つと行動に支障をきたします。なるべく背負うようにしましょう。
- 4 がけ崩れ等を考慮し、狭い道、塀や川沿いは避難経路として選択しないようにしましょう。
- 5 発災後、電気・ガスの復旧が始まると出火する危険性があります。出火防止をしてから避難しましょう。